

漁海況情報

平成20年8月1日 第15号(通巻374号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎2861-3

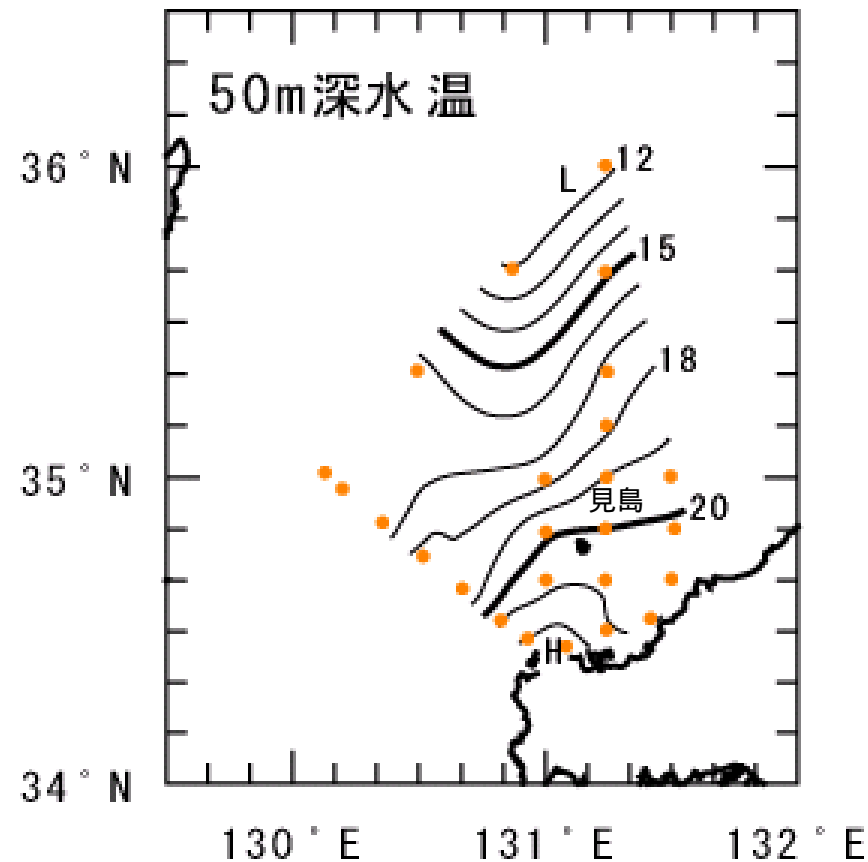
TEL: 0837-26-0711 FAX: 0837-26-1042 Mail: a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

くろしおによる海洋観測速報

7月30日~8月1日にかけて、漁業調査船「くろしお」で定線観測を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【50m深の水温分布】

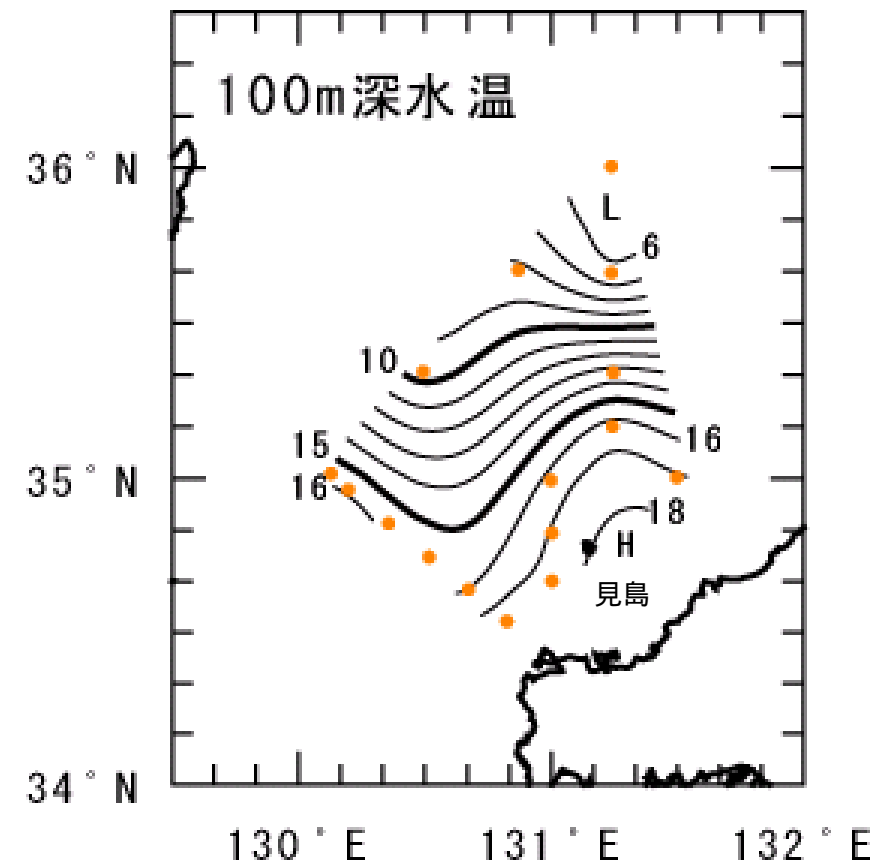
見島から沿岸では平年並み(-0.2℃)で、見島から沖合ではやや低め(-1.5℃)でした。



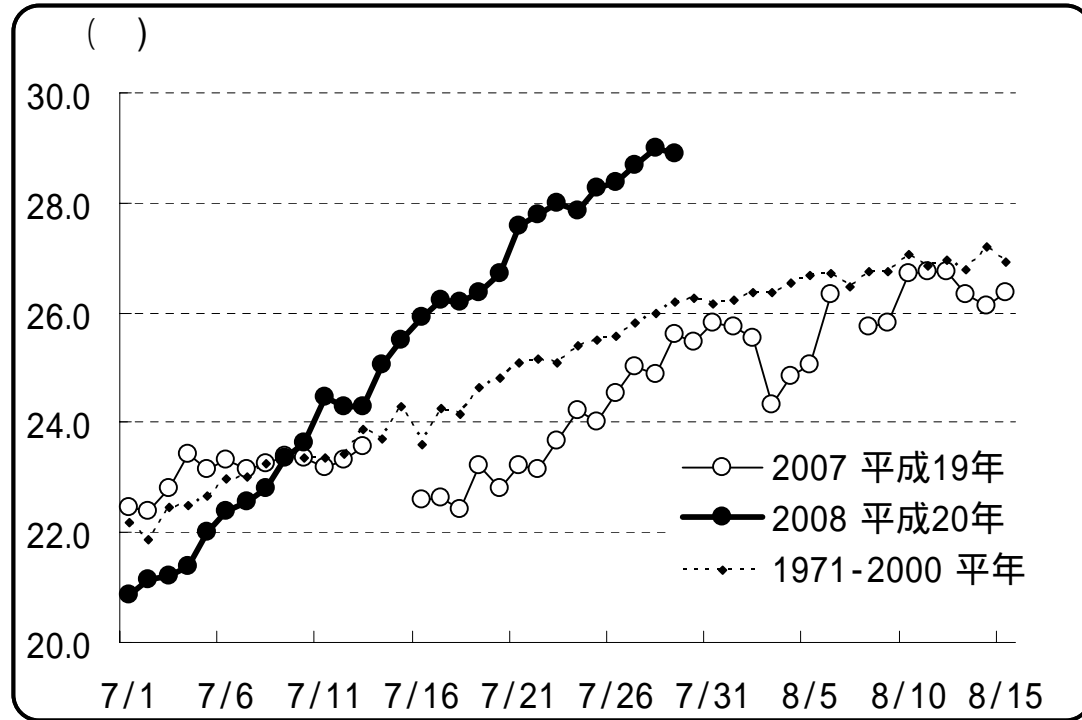
【100m深の水温分布】

前月に引き続き冷水域の張り出しがみられ、見島から沖合ではやや低め(-3.8℃)でした。

見島から沿岸域は、平年並み(+0.1℃)でした。



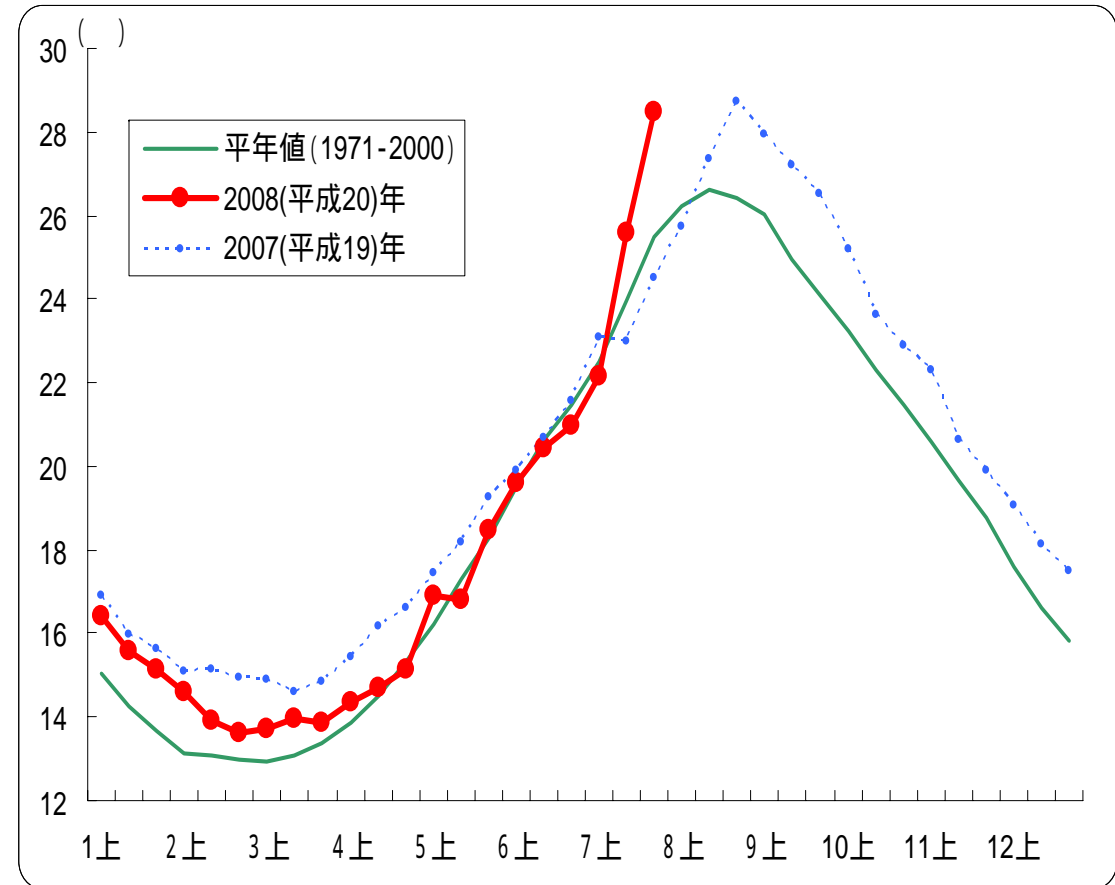
【 萩 - 見島フェリー - 観測の表層水温 】



萩N NW15 マイル沖の表層水温 (7月1日以降)

萩 - 見島フェリーの観測による萩沖の表層水温は、7月10日以降、急激に上昇しています (上図)。8月1日の表層水温は 29.36°C で、前年に比べ 3.62°C 高め、平年に比べると 3.14°C 高めです。

旬平均 (下図) でみると、7月に入り急上昇しており、7月下旬の平均水温は 28°Cに達しています。 この時期に 28°Cを越えたのは観測史上初の現象です。



萩N NW15 マイル沖の表層水温の旬平均

【阿武荻地区の水温・魚群情報】

漁業調査船「第2くろしお」による、7月29日の水温・魚群調査結果をお知らせします。(調査海域図は右の欄です。)

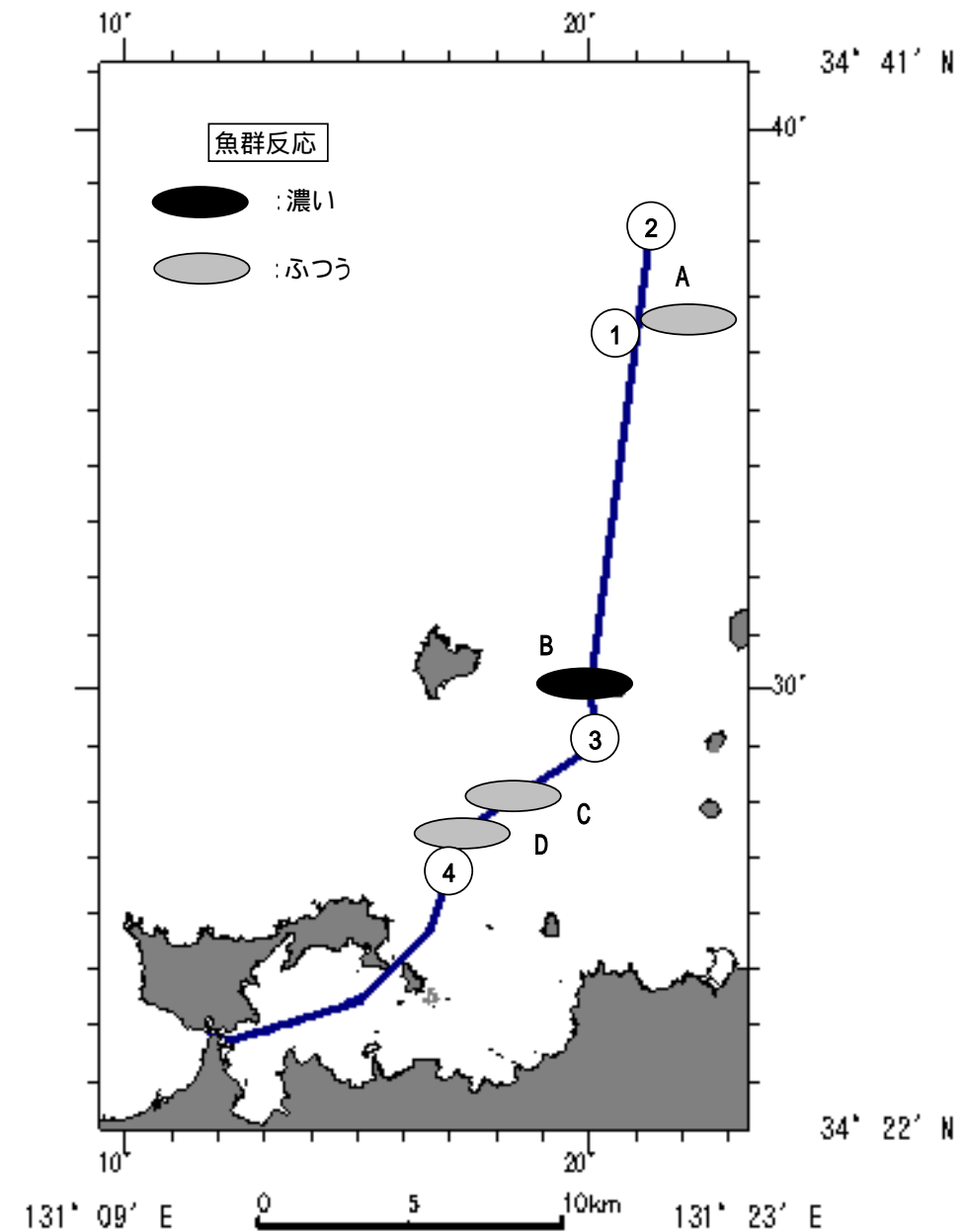
表 各観測点の水深別水温(°C) 7月29日観測

測点番号 名称等	相島人工礁		深瀬	沖ノ礁
	南	北		
深度・時刻	11:36	11:54	14:26	14:50
0m	28.9	29.2	28.7	29.4
20m	24.7	24.6	26.8	25.1
40m	21.7	21.6	22.5	21.9
60m	20.3	20.4		
80m	19.6			
海底	19.6	19.6	22.5	20.8
水深	82m	79m	40m	54m

魚群反応があった海域 いずれも位置は世界測地系です

A	34°36.60'N	131°21.51'E	反応ふつう	反応深度:60m~海底
B	34°30.01'N	131°19.89'E	反応濃い	反応深度:20m~海底
C	34°28.04'N	131°18.20'E	反応ふつう	反応深度:15~40m
D	34°27.58'N	131°17.20'E	反応ふつう	反応深度:30m~海底

調査海域図



【魚礁調査情報 (奈古地先)】

7月25日、調査船第2くろしおで奈古地先のハイブリッド型間伐材魚礁(高さ12m)と大型魚礁(H16設置)の調査を実施しました(図1)。

水中テレビロボット(ROV)を使った観察では、ウマヅラハギ(30cm前後)やイサキ(25cm前後)が数多く蟄集していたほか、イシダイ、ヒラマサがまとまって確認されました(図2)。

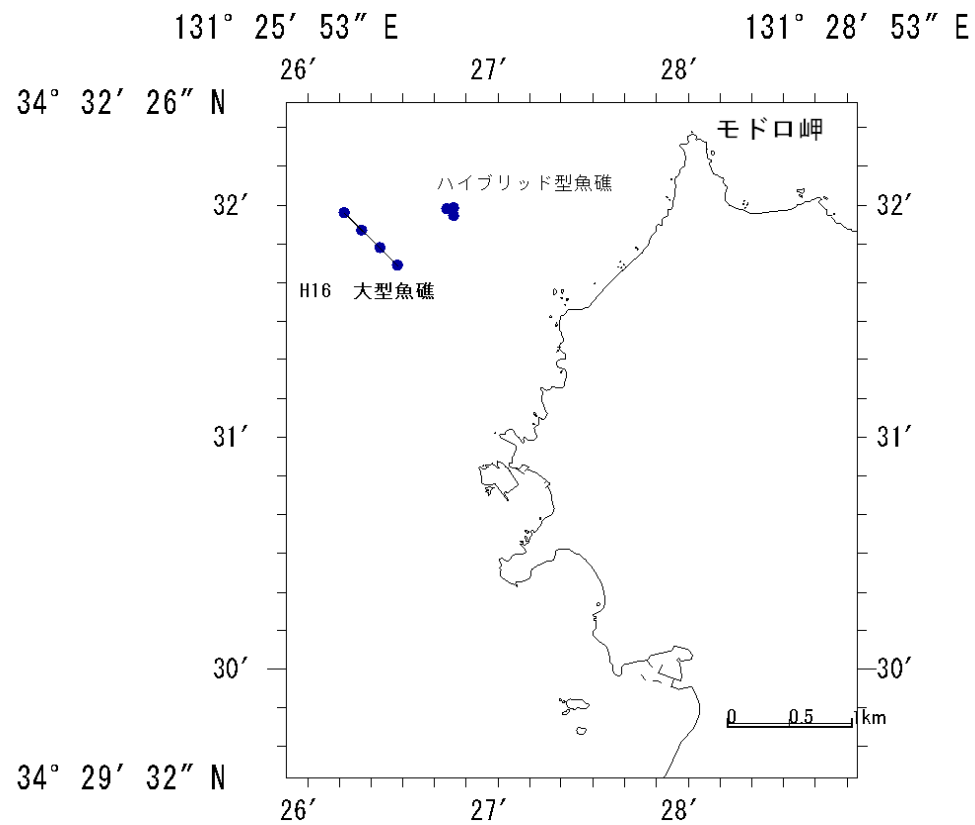


図1 今回の調査場所

【魚礁位置】 世界測地系で表示しています。

①ハイブリッド型間伐材魚礁(高さ12m、間伐材付き3基)

- 34°31.985'N、131°26.767'E (間伐材付きオジャンク込)
- 34°31.985'N、131°26.730'E (間伐材付きオジャンク込)
- 34°31.955'N、131°26.768'E (間伐材付きオジャンク込)

②H16設置大型魚礁

- 34°31.968'N、131°26.193'E
- 34°31.892'N、131°26.287'E
- 34°31.816'N、131°26.380'E
- 34°31.740'N、131°26.473'E



図2 ハイブリッド型魚礁に蟄集するウマヅラハギ